

小泉八雲

ラファディオ・ハーン

生誕160年記念・来日120年記念展

『怪談 KWAIIDAN』
「耳なし芳一」「雪女」の著者、小泉八雲。

本展は、熊本ゆかりの文学者小泉八雲(ラファディオ・ハーン 1850-1904)の生誕160年・来日120年を記念し、新しい節目を刻むことを目的としています。3年間(1891-1894)もの滞在の足跡が色濃く残る有縁の地・熊本において、八雲の内なる世界を再解釈するために、八雲と同時代を生きた画家たちの作品だけでなく、現代日本のアーティスト9名の作品をともに展示し、ハーンの世界や興味、嗜好が脈々と現代にも受け継がれていることを視覚化・検証する場を目指すものです。八雲に関して、文学方面ではなく、現代芸術という方面から検証する事は、全国で初めての試みとなります。

導入 へるんさんの息吹を体感する

小泉八雲が日常的に使用した遺品と、八雲も翻訳に参加した欧米向けの英訳日本昔話の絵本「ちりめん本」からは、八雲をはじめ欧米諸国が夢見た、つましくもセンスの良い理想的な日本の生活が浮かび上がってきます。あわせて、熊本-松江と、八雲有縁の地を歩いて制作した高嶺格の新作を御紹介します。



a



b

基調・1 「くわいだん」：へるんさんの時代の日本の闇

八雲は日本の大衆文化に非常に興味を持っていました。八雲と同時代の人気絵師たちは、歌舞伎や浄瑠璃、民衆芸能を題材としつつ、独自のアイデアとユーモアをふんだんに散りばめて人々を魅了しました。当時の絵師が描き残した日本の闇は、妖怪がうごめき、血なまぐさい事件が起きる、恐ろしくても引き付けられてしまう場所だったようです。



c



d



e

基調・2 へるんさんの時代のイギリス、アメリカの闇

八雲の時代の欧米は、大英帝国の栄華のもと近代化が進む一方で、懐古趣味や世紀末芸術が盛んとなり、また精神世界や靈魂に強い興味を持たれた時代でもありました。日本でも高い人気を誇るピアズリーの《サロメ》と、『シャーロック・ホームズ』の作者コナン・ドイル旧蔵の心霊写真は、華やかな時代の心の闇を映し出しています。



f



g

転調

へるんさんの秘めごと：現代日本のアーティストたち

八雲はその波乱万丈の人生を通じて、ギリシャ、アイルランド、イギリス、フランス、アメリカ、日本に住み暮らすという稀有な経験をしました。各国で八雲が取材・再話した、この世ならざるものへの畏怖や敬意、人間の残酷さや情の深さを示す物語は、時代を超えて、文化を超えて、現代日本のアーティストたちと共鳴を起こしています。



j



h



i



m



k



l

コーダ (終結部)

八雲が書き残した物語は、「雪女」や「耳なし芳一」のように、八雲の名が忘れられてもなお人々に愛されています。100年以上も前に、ひとりの人間が起こした小さな波紋が、現代にも広がっている不思議。八雲の生命は、彼の物語が愛されるたびに、活き活きと復活しているのかもしれませんが。



n



o

会期中の催し

【出品作家によるアーティスト・トーク】

6月26日(土) 14:00～15:30 企画展示室 *展覧会入場券が必要です

【記念連続講演会】 14:00～、会場：ホームギャラリー、入場無料

- 7月4日(日) 富澤治子(熊本市現代美術館学芸員・展覧会企画者)「展覧会『へるんさんの秘めごと』について」
- 7月11日(日) 小泉凡(小泉八雲曾孫、島根県立大学短期大学准教授)「小泉八雲を現代に生かす」
- 7月18日(日) 西川盛雄(熊本大学名誉教授)「ラファディオ・ハーンのクレオール文化について」
- 7月25日(日) 跡上史郎(熊本大学准教授)「小泉八雲のマンガ」
- 8月1日(日) 大熊敏之(富山大学准教授)「小泉八雲と日本の技芸 ―富山大学ヘルン文庫を手がかりに」

8月7日(土) 夏休み企画「おぼけを描こう」10:30～17:00

参加費：無料(但し、熊本市外の小学生は展覧会観覧料が必要です)
会場：キッズファクトリー他
対象：小学3年生～6年生(20人)
講師：秀島由己男(出品作家)、学芸スタッフ *要事前申し込み
*必要なもの小泉八雲作品を一冊読んでおくこと。水彩絵の具などの画材

【フィルム上映会】入場無料

8月8日(日) 13:30～ 会場：ホームギャラリー

「怪談」上映時間3時間3分 協力：キネコム

【浪曲公演】入場無料

8月13日(金) 18:00～ 会場：ホームギャラリー

浪曲師：国本武春(第50回芸術選奨文部大臣新人賞受賞)

- a. 小泉八雲愛用の虫籠 小泉八雲記念館蔵 b. 高嶺格《ザッピング八雲(仮)》作家蔵 c. 絵金《蝶花形名歌島台 小坂部館》赤岡町本町2区蔵
d. 月岡芳年《新形三十六怪撰 二十四季狐火之図》徳島市蔵 e. 河鍋曉斎《牛若丸図》熊本県立美術館蔵 f. コナン・ドイル旧蔵心霊写真 成山画廊蔵
g. オープリー・ピアズリー《サロメ》熊本県立美術館蔵 h. 亀井徹《花虫達》成山明光氏蔵
i. 西尾康之《Drown-oil fence》高橋コレクション photo by 木奥恵三 courtesy of YAMAMOTO GENDAI j. 秀島由己男《風の舟 C》作家蔵
k. 野村佐紀子《黒闇》作家蔵
l. 鈴木淳《チャリン》作家蔵 m. 松井冬子《夜盲症》成山画廊蔵 n. 宮島達男《NA.AR. concept image》
o. 相馬浩一(制作)/宮島達男(プログラム)《Floating Time(時の浮遊) 無限に広がる生命力》個人蔵

へるんさんの秘めごと
The Secret of Lafcadio Hearn